



2023年4月28日

各位

会社名株式会社ファンデリー  
代表者名代表取締役阿部公祐  
(コード番号：3137 東証グロース)  
問合せ先取締役 茅野智憲  
経営管理本部長  
(TEL. 03-6741-5880)

## 業績予想と実績値との差異、配当予想の修正（無配）に関するお知らせ

当社は、2023年3月期決算において、2022年4月28日に公表した2023年3月期（2022年4月1日～2023年3月31日）の通期業績予想と本日公表の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。また、これに伴い、本日開催の取締役会において、2023年3月期の配当予想を修正し、2023年3月期の期末配当を行わないことを決議いたしましたので、併せてお知らせいたします。

### 記

#### 1. 2023年3月期 通期業績予想と実績値の差異（2022年4月1日～2023年3月31日）

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	3,200	105	114	79	12円49銭
実績値 (B)	2,810	△285	△284	△284	△44円79銭
増減額 (B-A)	△390	△390	△398	△363	
増減率 (%)	△12.2	—	—	—	
(ご参考) 前期実績 (2022年3月期)	3,123	△177	△158	△1,948	△306円54銭

2023年3月期の業績につきましては、MFD事業において、新型コロナウイルスの感染再拡大などの影響により医療機関からの新規顧客が減少したことから、売上高2,256百万円（前回予想2,458百万円）、セグメント利益（営業利益）480百万円（前回予想527百万円）となりました。

CID事業においては、より高品質な高価格帯のメニューや、JAとのコラボメニューを充実させ、新規顧客の獲得及び販売数の拡大に努めましたが、想定を下回り、また、損益分岐点の未達及びTVCMの制作・放送に係る広告宣伝費を計上したことから、売上高141百万円（前回予想242百万円）、セグメント損失（営業損失）758百万円（前回予想483百万円）となりました。

マーケティング事業においては、2023年3月期の第4四半期に見込んでいた案件の獲得が、翌期にずれ込んだことから、売上高412百万円（前回予想500百万円）、セグメント利益（営業利益）290百万円（前回予想368百万円）となりました。

これらの結果、売上高、営業利益、経常利益及び当期純利益は前回発表予想を下回りました。

## 2. 配当予想の修正（無配）

### （1）配当予想修正の内容

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
前回予想				3.00	3.00
今回修正予想				0.00	0.00
当期実績	—	0.00	—		
前期実績 (2022年3月期)	—	0.00	—	0.00	0.00

### （2）修正の理由

当社は、株主の皆様に対する利益還元を重要な経営課題と認識しており、企業体質の強化及び将来の事業展開のために必要な内部留保を確保しつつ、安定した配当を継続して実施していくことを基本方針としております。

2023年3月期の期末配当につきましては、2023年3月期に当期純損失を計上したことから、誠に遺憾ながら1株当たり3円と予想していた期末配当を無配とすることを決議いたしました。

株主の皆様のご期待に沿えないことを深くお詫び申し上げますとともに、早期に復配できるように努めてまいりますので、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

以上